

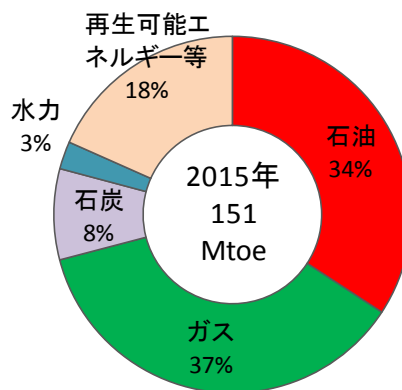
## 2-5 イタリア

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 151 百万 toe (日本の 35%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 2.47toe/人 (日本の 72%)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 24%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 319.7 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 26.9%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 5.26CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 56.2%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015年末) : 原油 14.7年、天然ガス 7.5年、石炭 N/A

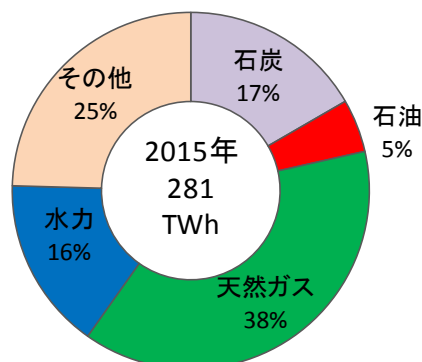
一次エネルギー供給構成 (2015年)



Country: Italy

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015年)



Country: Italy

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- イタリアの主要なエネルギー政策担当機関は「経済振興省」である。また、経済および財政の運営に関する合議機関として経済計画閣僚会議（CIPE）が設置され、エネルギー政策と経済政策の調整等を行なっている。

### (2) 基本政策

- エネルギーに関する基本政策は、2013年3月に承認された「国家エネルギー戦略（SEN）」に示されている。同戦略では、①エネルギーコストの削減、②環境と低炭素目標の達成、③エネルギー安定供給の継続、④持続的な経済成長の継続を4大目標としている。
- イタリアでは、2012年以降、固定価格買取制度（FIT）に代わる新たな政策として、市場価格を反映させる事を目的とし、電力卸市場価格にプレミアムを付けて買い取る、フィード・イン・プレミアム（FIP）が適用されている。
- 2011年6月に実施された国民投票で、原子力再稼働に対する反対票が94%となったイタリアでは、天然ガス等の化石燃料に比重を置いた電源構成へとシフトした。
- 2014年7月、国内における省エネの促進に向けて、2020年を目安とし、各部門に削減すべきエネルギー消費量の目標数値を割り当てた「Italian Energy Efficiency Action Plan」を発表した。

### (3) 最近の動向

- 「国家エネルギー戦略（SEN）」では、2020年までの優先目標として、競争的なガス市場の発展、再生可能エネルギーの持続的開発、電力市場の発展、石油精製業界の再編成、国内資源の持続的生産を掲げる。また、2050年までの持続的なエネルギー開発を目指す他、エネルギーの効率的利用に取り組み、一次エネルギー消費量を2050年までに2010年比17-26%削減する計画である。
- イタリア政府は2015年2月20日の閣議において、2015年6月末に予定されていた電力・ガス規制料金の廃止を3年間遅らせ、2018年6月末と決定した。
- 2016年4月、イタリアは核問題に対する経済制裁が解除されたイランを訪問し、再生可能エネルギー、石油・ガスを含む複数分野において意思覚書（MOU）を締結した。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 丸紅は2016年5月に、イタリアの大手電力会社 Enel SpA と、アジアの、特にインドネシア、フィリピン、タイ、ミャンマー、ベトナム、マレーシアにおける発電事業の共同開発に係る検討を開始する事に合意し、覚書を締結した。同社は地熱分野に強みを持つ Enel SpA から地下探査等のノウハウを習得し、Enel SpA は課題であったアジア市場開拓を進めていくとしており、2018年までに2件程度の共同受注を目指す。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Italy

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		151 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.47 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.07 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		24 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2014年)		319.7 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2014年)		5.26 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	8 %
	石油	34 %
	天然ガス	37 %
	原子力	0 %
	水力	3 %
	再生可能エネルギー等	18 %
(8) エネルギーの輸入依存度		76 %
(9) 石油の輸入依存度		89 %
(10) 輸入原油の中東依存度		27.7 %
(11) 原油の輸入先	第1位	イラク
	第2位	アゼルバイジャン
	第3位	ロシア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA